



俺 0 0 0 0 9



book-fukunokami

苺ケーキ

「俺も苺のケーキを15個食うんだ」

俺はケーキ屋で叫んだ。

「はい、苺のケーキを15個ですね」

美人の店員さんが言った。

なんと大きい丸いホールケーキが15個になってしまった。

とても食いきれない。

こういう時に俺がフラッシュモブだと思ってる事がおきないものか。

困ったものだ。

俺は公園で苺のケーキを食い始めた。

食っても食っても苺のケーキは少ししか減らなかった。

苺ケーキ、苺ケーキ。

「だめだ、もうこれいじょう食えない」

「よし、俺が食ってやろう」

「私も食うわ」

「俺も食う食う」

ようやく俺がフラッシュモブだと思う事がおこってくれた。

そして苺ケーキ食う会になった。

俺も苺のケーキをふるまえて良かった。